

令和 4 年 9 月 1 日現在

機関番号：12601

研究種目：国際共同研究加速基金（国際活動支援班）

研究期間：2016～2021

課題番号：16K21720

研究課題名（和文）思春期主体価値・国際活動支援班

研究課題名（英文）Personalized values in adolescence support team for international activities

研究代表者

笠井 清登（KASAI, KIYOTO）

東京大学・医学部附属病院・教授

研究者番号：80322056

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 43,300,000円

研究成果の概要（和文）：国際アドバイザーボードを組織し、豪国George Patton 博士、英国1946 年出生コホートのMarcus Richards博士、英国ALSPAC研究のSarah Sullivan博士等との連携により、国際共同研究や日英クロスコホート研究を行い、国際思春期保健に貢献する成果を挙げた。また、国際アドバイザーボードメンバーを招聘し、5度の国際ワークショップを開催した。若手の国際活動支援として、George Patton博士やTrevor Robbins 博士等の国際アドバイザーボードメンバーのもとに長期派遣を行った。5名の派遣研究員から その成果として 14 編の英文論文が発表された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

国際アドバイザーボードとの連携により、国際思春期保健に貢献する成果を挙げ、本領域はアジア思春期科学の中心拠点となった。領域期間内に5度の主催国際ワークショップを行い、英国 1946 年出生コホートとの共同研究により思春期の主体価値の形成の長期的人生ウェルビーイングへの影響が明らかになったことで、OECDに注目されるなど、思春期主体価値概念を国際導出することができた。

研究成果の概要（英文）：We organized an international advisory board to conduct international collaborative studies with Prof. George Patton from Australia, Prof. Marcus Richards from the 1946 birth cohort study in the UK, and other collaborators, and a cross-cohort study between Japan and the UK in collaboration with Prof. Sarah Sullivan from ALSPAC study in the UK. The studies have achieved results that contribute to international adolescent health. In addition, we invited members of the International Advisory Board and held five international workshops. To support the international activities of young researchers, long-term dispatches were made to conduct research abroad under the supervision of international advisory board members such as Prof. George Patton of the University of Melbourne and Prof. Trevor Robbins of Cambridge University. These five dispatched researchers published 14 English papers as their achievements.

研究分野：精神神経科学

キーワード：思春期 主体価値 コホート研究 リカバリー Well-being（ウェルビーイング） 国際共同研究 国際比較研究 若手育成

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式C - 19、F - 19 - 1、Z - 19（共通）

1．研究開始当初の背景

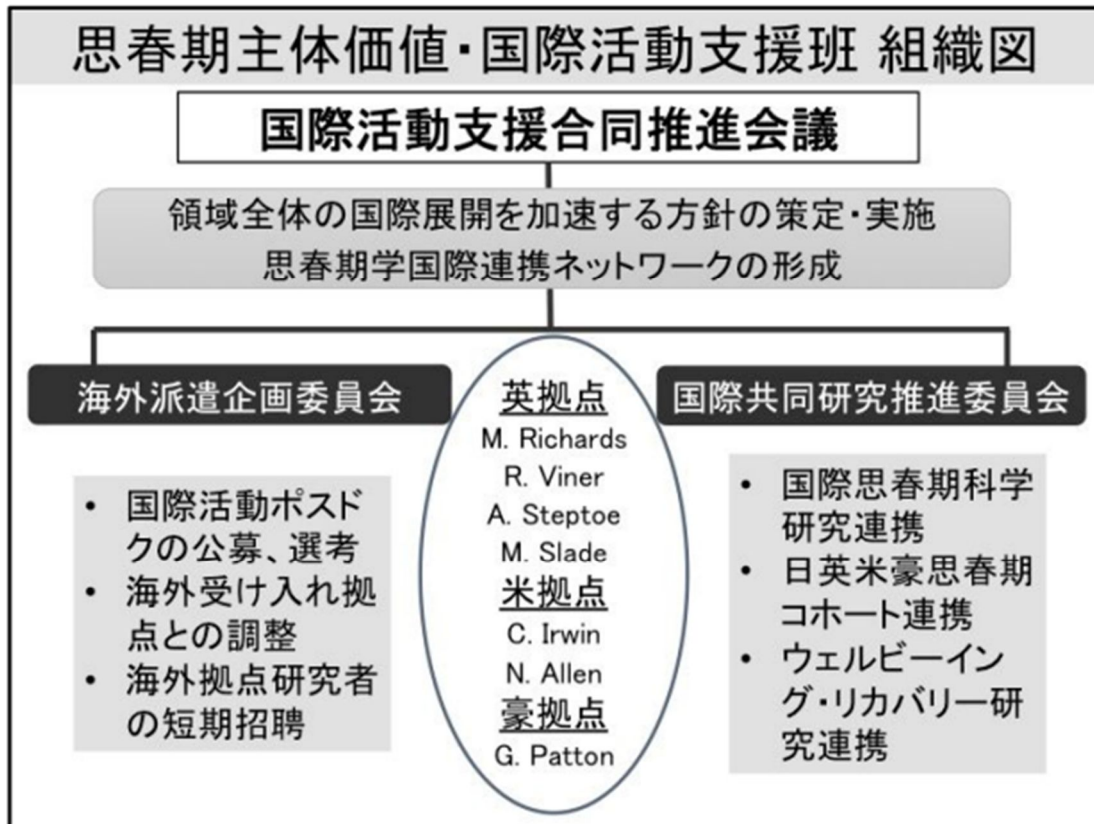
先進国では少子高齢化が進み、社会的イノベーション発展のために、若者の能動性や活力の重要性が増している。人間が人生の長期的行動をどのように自ら選択し、個人や社会の精神的豊かさを発展させるかという問題を、思春期において飛躍的に形成される精神機能に注目して理解する新しい学問領域の創出は喫緊の課題である。本領域は、思春期から形成される主体価値(personalized value)に注目して理解する新しい学問分野の創出を目指すものである。思春期科学が国際的に高まりを見せる一方、長期的生活行動を主体的に選択する動因としての主体価値が、思春期にいか形成されるかについて、実証的な研究は国際的にも全く行われていない。本領域にて、脳科学、情報工学、発達疫学、精神医学、心理学を含む学際的研究により、思春期主体価値の形成発展過程の解明が期待される。

2．研究の目的

海外の思春期科学研究拠点との密接な連携を構築することにより、1) コホート研究等における国際比較から、思春期主体価値の形成・発展における日本に特異的な課題を抽出する、2) 主体価値概念を普遍化し、世界の思春期科学のコミュニティに発信することにより、国際的に思春期科学を学際化し、格段に発展させることに寄与することを目的とする。これらの方針を策定・実施することにより、領域全体の国際展開を加速し、思春期科学国際連携ネットワークの形成を実現する。

3．研究の方法

国際活動支援合同推進会議のもと、海外派遣ポスドクの選考や受け入れ先の調整を担う海外派遣企画委員会を組織する。また、国際共同研究推進委員会を組織して、グローバルな国際思春期学ネットワークを構築し、そのなかで本領域がアジアの代表拠点としての役割を果たす。



(1) コホート研究：

思春期科学国際連携ネットワークのもとで選定した主体価値測定指標及び英国 ALSPAC 研究チーム指標を用いた東京ティーンコホート（TTC）でのデータ収集及び解析を推進する。TTC、英国 1946 年出生コホート研究、英国 ALSPAC 研究、豪国コホート研究のデータを基に、英豪国等との共同研究を推進する。

(2) 主体価値発展研究・基底生活行動研究：

質的研究に基づく、価値の意識化、家族などとの価値の共有、目標を踏まえたアクションプログラムを行なう。Mike Slade 博士との強固な連携体制を維持し、アクションプログラムによる結果をまとめ、効果検証研究実施後、論文化、成果発信を行う。基底生活行動研究は、平成 29 年度の英国派遣研究員が B01 研究代表村井のチームに常勤研究者として加わり、英国 Trevor Robbins 博士との共同研究をさらに推進する

(3) 海外研究者招聘：

国際的に評価の高い海外研究者を招聘し、国際領域形成ワークショップを開催し、国際連携ネットワークの構築・強化を推進する。平成 30 年に、思春期保健科学のグローバルリーダー





ーである豪国の George Patton 博士、Susan Sawyer 博士、リカバリー研究の第 1 人者である英国の Mike Slade 博士を招聘する。中でも Patton 博士は、Nature 誌の思春期特集のレビュー論文の著者でもあり、本領域が国際的思春期研究に組み込まれていることを裏付けている。平成 31 年に、行動神経科学の大家である英国 Trevor Robbins 博士を招聘し、京都にて国際ワークショップを開催する。

(4) 海外派遣研究員：

平成 29 年度に海外派遣企画委員会による厳正な審査にもとづき第 I 期ポストドクターを選抜し、国際アドバイザリーボードメンバーのもとへの長期派遣を通じて、国際連携ネットワークの強化を図る。国際領域形成ワークショップを実施する。平成 30 年度に、海外派遣企画委員会による厳正な審査にもとづき第 II 期ポストドクターを選抜し、長期派遣を通じて、領域の国際的ネットワークを強化する。国際領域形成ワークショップを実施する。

4 . 研究成果

国際アドバイザリーボード (<http://value.umin.jp/member.html>) を組織し、Adolescent Health を国際的に先導している George Patton 博士、Susan Sawyer 博士、英国 1946 年 出生コホートをリードしている Marcus Richards 博士、英国 ALSPAC 研究の Sarah Sullivan 博士等との連携により、国際思春期保健に貢献する成果を挙げ、本領域はアジア思春期科学の中心拠点となった。Patton & Sawyer 博士、Mike Slade 博士、Trevor Robbins 博士等の国際アドバイザリーボードメンバーを招聘し、国際ワークショップを開催した。英国 1946 年 出生コホートとの共同研究により思春期の主体価値の形成の長期的人生ウェルビーイングへの影響が明らかにした (Yamasaki et al., 2021) ことで、OECD に注目されるなど、概念を国際導出することができた。また、TTC と英国 ALSPAC 研究の日英クロスコホート研究 (Sullivan, Kasai, Nishida, 2021) などの成果が生まれた。

ALSPAC Cohort (英国) & TTC (日本)

Sullivan, Yamasaki et al., *Front Psychology*, 2021

主体感覚の基盤 (Locus of Control) と思春期メンタルヘルスの関連：日英比較

精神症状体験 (調整オッズ比)	11-12歳	14歳
ALSPAC	1.06 (1.02-1.10)	1.07 (1.01-1.11)
TTC	1.12 (1.06-1.19)	1.11 (1.04-1.18)

抑うつ症状(調整済みβ)	11-12歳	14歳
ALSPAC	0.139 (0.069-0.210)	0.130 (0.004-0.225)
TTC	0.338 (0.240-0.438)	0.197 (0.084-0.225)

• 主体感覚の基盤である自己統制感 (sense of control) が思春期に低いとメンタルヘルス不良を経験しやすくなる：日英共通

29

主体価値発展研究では、Mike Slade 教授との密接な連携により、日本人においても英国のパーソナルリカバリー概念が概ね当てはまることを示した (Kanehara et al., 2017)。一方で、日本人特有の他者とのつながり、社会的規範からの解放などが回復に重要であることを見出した (Kanehara et al., 2022)。若手研究者の国際活動支援については、国際思春期保健の国際的リーダーの Melbourne 大学の Patton & Sawyer 博士や、基底生活行動の脳基盤解明の第一人者である Cambridge 大学の Trevor Robbins 博士などの国際アドバイザーボードメンバーのもとに長期派遣を行った。これらの5名の派遣研究員から その成果として 14 編の英文論文が発表された。




派遣成果：2021年出版
 Adapting non-invasive human recordings along multiple task-axes shows unfolding of spontaneous and over-trained choice
 Y. Kanehara^{1,2}, K. Yamamoto^{1,2}, T. Inoue^{1,2}, M. K. W. Trötschel^{1,2}, T. T. E. Selvaraj^{1,2}, M. C. Chen^{1,2}, P. D.

1名 (2018年度)
 1名 (2019年度)
 1名 (2017年度)
 1名 (2018年度)
 1名 (2017-18年度)

Computational Neuroscience
 Prof. Mark Woolrich
 University of Oxford, UK

Neuroimaging in motivation
 Prof. Trevor Robbins
 University of Cambridge, UK

Cognitive/Behavioral Neuroscience on impulsivity/compulsivity
 Prof. Siegfried Kasper
 Medical University of Vienna, Austria

D & I Science
 Prof. Doug Ziedonis
 UC San Diego School of Medicine, USA

Adolescent Population Health
 Prof. George Patton
 University of Melbourne, Australia

派遣成果：2018年出版
 Striatal abnormalities in trichotillomania: A multi-site MRI analysis
 Mousavi Indeh^{1,2}, Sarah A. Redden¹, Nancy A. Knutson¹, Dan A. Stokes¹, Christine Lochner¹, Joa E. Gruber¹, Saurabh K. Chatterjee^{1,2}

派遣成果：2021年出版
 Bullying Across Late Childhood and Early Adolescence: A Prospective Cohort of Students Assessed Annually From Grades 5 to 8
 Shira F. Berkov^{1,2}, Y. T. Lisa S. Maugh^{1,2}, Liane Campbell^{1,2}, Elizabeth Miller-Bennett^{1,2}, George T. Patton^{1,2}

27

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計102件（うち査読付論文 99件 / うち国際共著 18件 / うちオープンアクセス 80件）

1. 著者名 Ide Soichiro, Nakanishi Miharuru, Yamasaki Syudo, Ikeda Kazutaka, Ando Shuntaro, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Nishida Atsushi	4. 巻 9
2. 論文標題 Adolescent Problem Gaming and Loot Box Purchasing in Video Games: Cross-sectional Observational Study Using Population-Based Cohort Data	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JMIR Serious Games	6. 最初と最後の頁 e23886
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/23886	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Yamasaki Syudo, Nishida Atsushi, Ando Shuntaro, Murayama Kou, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Richards Marcus	4. 巻 -
2. 論文標題 Interaction of adolescent aspirations and self-control on wellbeing in old age: Evidence from a six-decade longitudinal UK birth cohort	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Journal of Positive Psychology	6. 最初と最後の頁 1~10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17439760.2020.1818809	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Kuroki Ryota, Murata Yui, Fuke Satoshi, Nakachi Yutaka, Nakashima Jun, Kujoth Gregory C., Prolla Tomas A., Bundo Miki, Kato Tadafumi, Iwamoto Kazuya	4. 巻 11
2. 論文標題 Establishment of Quantitative PCR Assays for Active Long Interspersed Nuclear Element-1 Subfamilies in Mice and Applications to the Analysis of Aging-Associated Retrotransposition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Genetics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fgene.2020.519206	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Ikegame Tempei, Hidaka Yosuke, Nakachi Yutaka, Murata Yui, Watanabe Risa, Sugawara Hiroko, Asai Tatsuro, Kiyota Emi, Saito Takeo, Ikeda Masashi, Sasaki Tsukasa, Hashimoto Mamoru, Ishikawa Tomohisa, Takebayashi Minoru, Iwata Nakao, Kakiuchi Chihiro, Kato Tadafumi, Kasai Kiyoto, Bundo Miki, Iwamoto Kazuya	4. 巻 11
2. 論文標題 Identification and functional characterization of the extremely long allele of the serotonin transporter-linked polymorphic region	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-021-01242-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujikawa Shinya, Mundy Lisa K., Canterford Louise, Moreno-Betancur Margarita, Patton George C.	4. 巻 21
2. 論文標題 Bullying Across Late Childhood and Early Adolescence: A Prospective Cohort of Students Assessed Annually From Grades 3 to 8	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Academic Pediatrics	6. 最初と最後の頁 344 ~ 351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.acap.2020.10.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Morishima Ryo, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Shimodera Shinji, Ojio Yasutaka, Okazaki Yuji, Kasai Kiyoto, Sasaki Tsukasa, Nishida Atsushi	4. 巻 293
2. 論文標題 Long and short sleep duration and psychotic symptoms in adolescents: Findings from a cross-sectional survey of 15 786 Japanese students	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychiatry Research	6. 最初と最後の頁 113440
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.psychres.2020.113440	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyono Tomoki, Morita Masaya, Morishima Ryo, Fujikawa Shinya, Yamasaki Syudo, Nishida Atsushi, Ando Shuntaro, Kasai Kiyoto	4. 巻 1
2. 論文標題 The Prevalence of Psychotic Experiences in Autism Spectrum Disorder and Autistic Traits: A Systematic Review and Meta-analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Schizophrenia Bulletin Open	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/schizbullopen/sgaa046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sullivan Sarah, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Endo Kaori, Kasai Kiyoto, Culpin Iryna, Dardani Christina, Zammit Stanley, Nishida Atsushi	4. 巻 12
2. 論文標題 The Association Between Locus of Control and Psychopathology: A Cross-Cohort Comparison Between a UK (Avon Longitudinal Study of Parents and Children) and a Japanese (Tokyo Teen Cohort) Cohort	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 1222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2021.600941	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ikegame T, Bundo M, Okada N, Murata Y, Koike S, Sugawara H, Saito T, Ikeda M, Owada K, Fukunaga M, Yamashita F, Koshiyama D, Natsubori T, Iwashiro N, Asai T, Yoshikawa A, Nishimura F, Kawamura Y, Ishigooka J, Kakiuchi C, Sasaki T, Abe O, Hashimoto R, Iwata N, Yamasue H, Kato T, Kasai K, Iwamoto K	4. 巻 46
2. 論文標題 Promoter Activity-Based Case-Control Association Study on SLC6A4 Highlighting Hypermethylation and Altered Amygdala Volume in Male Patients With Schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Schizophrenia Bulletin	6. 最初と最後の頁 1577 ~ 1586
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/schbul/sbaa075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukasawa Maiko, Watanabe Kazuhiro, Nishi Daisuke, Kawakami Norito	4. 巻 10
2. 論文標題 Longitudinal association between adolescent work values and mental health and well-being in adulthood: a 23-year prospective cohort study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 13547
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-70507-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Okada N, Ando S, Koike S, Yahata N, Morita K, Sawada K, Morita S, Kawakami S, Kanata S, Fujikawa S, Sugimoto N, Toriyama R, Masaoka M, Araki T, Kano Y, Endo K, Yamasaki S, Nishida A, Hiraiwa-Hasegawa M, Kasai K	4. 巻 220
2. 論文標題 Association between duration of breastfeeding based on maternal reports and dorsal and ventral striatum and medial orbital gyrus volumes in early adolescence	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 117083
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2020.117083	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto Noriko, Nishida Atsushi, Ando Shuntaro, Usami Satoshi, Toriyama Rie, Morimoto Yuko, Koike Shinsuke, Yamasaki Syudo, Kanata Sho, Fujikawa Shinya, Furukawa Toshiaki A., Sasaki Tsukasa, Hiraiwa Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto	4. 巻 53
2. 論文標題 Use of social networking sites and desire for slimness among 10 year old girls and boys: A population based birth cohort study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Eating Disorders	6. 最初と最後の頁 288 ~ 295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/eat.23202	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murata Yui, Fujii Ayaka, Kanata Sho, Fujikawa Shinya, Ikegame Tempei, Nakachi Yutaka, Zhao Zhilei, Jinde Seiichiro, Kasai Kiyoto, Bundo Miki, Iwamoto Kazuya	4. 巻 39
2. 論文標題 Evaluation of the usefulness of saliva for DNA methylation analysis in cohort studies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 301 ~ 305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murata Yui, Ikegame Tempei, Koike Shinsuke, Saito Takeo, Ikeda Masashi, Sasaki Tsukasa, Iwata Nakao, Kasai Kiyoto, Bundo Miki, Iwamoto Kazuya	4. 巻 99
2. 論文標題 Global DNA hypomethylation and its correlation to the betaine level in peripheral blood of patients with schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry	6. 最初と最後の頁 109855 ~ 109855
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pnpbp.2019.109855	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Endo Kaori, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Kikusui Takefumi, Mogi Kazutaka, Nagasawa Miho, Kamimura Itsuka, Ishihara Junko, Nakanishi Miharuru, Usami Satoshi, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Nishida Atsushi	4. 巻 17
2. 論文標題 Dog and Cat Ownership Predicts Adolescents' Mental Well-Being: A Population-Based Longitudinal Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 884 ~ 884
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph17030884	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuma Naonori, Watanabe Kazuhiro, Iida Mako, Nishi Daisuke, Kawakami Norito	4. 巻 14
2. 論文標題 Personal values in adolescence and psychological distress in adults: A cross-sectional study based on a retrospective recall	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0225454
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0225454	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi Noriyuki, Ando Shuntaro, Jinde Seiichiro, Fujikawa Shinya, Okada Naohiro, Toriyama Rie, Masaoka Mio, Sugiyama Hiroshi, Shirakawa Toru, Yagi Tomoko, Morita Masaya, Morishima Ryo, Kiyono Tomoki, Yamasaki Syudo, Nishida Atsushi, Kasai Kiyoto	4. 巻 116
2. 論文標題 Social withdrawal and testosterone levels in early adolescent boys	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychoneuroendocrinology	6. 最初と最後の頁 104596 ~ 104596
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.psyneuen.2020.104596	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okada Naohiro, Yahata Noriaki, Koshiyama Daisuke, Morita Kentaro, Sawada Kingo, Kanata Sho, Fujikawa Shinya, Sugimoto Noriko, Toriyama Rie, Masaoka Mio, Koike Shinsuke, Araki Tsuyoshi, Kano Yukiko, Endo Kaori, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Nishida Atsushi, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto	4. 巻 209
2. 論文標題 Smaller anterior subgenual cingulate volume mediates the effect of girls' early sexual maturation on negative psychobehavioral outcome	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 116478 ~ 116478
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2019.116478	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama Daisuke, Kirihara Kenji, Usui Kaori, Tada Mariko, Fujioka Mao, Morita Susumu, Kawakami Shintaro, Yamagishi Mika, Sakurada Hanako, Sakakibara Eisuke, Satomura Yoshihiro, Okada Naohiro, Kondo Shinsuke, Araki Tsuyoshi, Jinde Seiichiro, Kasai Kiyoto	4. 巻 265
2. 論文標題 Resting-state EEG beta band power predicts quality of life outcomes in patients with depressive disorders: A longitudinal investigation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Affective Disorders	6. 最初と最後の頁 416 ~ 422
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2020.01.030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tada Mariko, Kirihara Kenji, Koshiyama Daisuke, Fujioka Mao, Usui Kaori, Uka Takanori, Komatsu Misako, Kunii Naoto, Araki Tsuyoshi, Kasai Kiyoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Gamma-Band Auditory Steady-State Response as a Neurophysiological Marker for Excitation and Inhibition Balance: A Review for Understanding Schizophrenia and Other Neuropsychiatric Disorders	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical EEG and Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1550059419868872	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori, Asako, Manfred Klobl, Go Okada, Murray Bruce Reed, Masahiro Takamura, Paul Michenthaler, Koki Takagaki et al.	4. 巻 13
2. 論文標題 Predicting Ventral Striatal Activation During Reward Anticipation From Functional Connectivity at Rest	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 Article 289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2019.00289	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koshiyama Daisuke, Kirihara Kenji, Tada Mariko, Nagai Tatsuya, Fujioka Mao, Usui Kaori, Araki Tsuyoshi, Kasai Kiyoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Reduced Auditory Mismatch Negativity Reflects Impaired Deviance Detection in Schizophrenia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Schizophrenia Bulletin	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/schbul/sbaa006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawada Kingo, Sakakibara Eisuke, Kanehara Akiko, Koike Haruna, Suga Motomu, Fujieda Yumiko, Miyamoto Yuki, Fukuda Masato, Kasai Kiyoto	4. 巻 74
2. 論文標題 Is Utena's Brief Objective Measures (UBOM) useful in real world behavioral assessment of functioning? Validity and utility testing in patients with schizophrenia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 40 ~ 48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12929	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi Kenji, Maeda Yoshitomo, Sawada Takeshi, Iino Yusuke, Tajiri Mio, Nakazato Ryosuke, Kasai Haruo, Yagishita Sho	4. 巻 -
2. 論文標題 The minimal behavioral time window for reward conditioning in the nucleus accumbens of mice	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 bioRxiv	6. 最初と最後の頁 641365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/641365	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zhao, Zhilei, Seiichiro Jinde, Shinsuke Koike, Mariko Tada, Yoshihiro Satomura, Akane Yoshikawa, Yukika Nishimura et al.	4. 巻 9
2. 論文標題 Altered expression of microRNA-223 in the plasma of patients with first-episode schizophrenia and its possible relation to neuronal migration-related genes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-019-0609-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yagishita Sho	4. 巻 74
2. 論文標題 Transient and sustained effects of dopamine and serotonin signaling in motivation related behavior	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 91 ~ 98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12942	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takagi Yu, Hirayama Jun-ichiro, Tanaka Saori C.	4. 巻 201
2. 論文標題 State-unspecific patterns of whole-brain functional connectivity from resting and multiple task states predict stable individual traits	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 116036 ~ 116036
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2019.116036	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Itahashi Takashi, Okada Naohiro, Ando Shuntaro, Yamasaki Syudo, Koshiyama Daisuke, Morita Kentaro, Yahata Noriaki, Koike Shinsuke, Nishida Atsushi, Kasai Kiyoto, Hashimoto Ryu-ichiro	4. 巻 -
2. 論文標題 Functional connectome linking child-parent relationships with psychological problems in adolescence	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 bioRxiv	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/678714	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasabayashi Daiki, Takayanagi Yoichiro, Takahashi Tsutomu, Katagiri Naoyuki, Sakuma Atsushi, Obara Chika, Katsura Masahiro, Okada Naohiro, Koike Shinsuke, Yamasue Hidenori, Nakamura Mihoko, Furuichi Atsushi, Kido Mikio, Nishikawa Yumiko, Noguchi Kyo, Matsumoto Kazunori, Mizuno Masafumi, Kasai Kiyoto, Suzuki Michio	4. 巻 -
2. 論文標題 Subcortical Brain Volume Abnormalities in Individuals With an At-risk Mental State	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Schizophrenia Bulletin	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/schbul/sbaa011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Malda, Aaltsje, Nynke Boonstra, Hans Barf, Steven De Jong, Andre Aleman, Jean Addington, Marita Pruessner et al.	4. 巻 10
2. 論文標題 Individualized Prediction of Transition to Psychosis in 1,676 Individuals at Clinical High Risk: Development and Validation of a Multivariable Prediction Model Based on Individual Patient Data Meta-Analysis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyt.2019.00345	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Iino Yusuke, Sawada Takeshi, Yamaguchi Kenji, Tajiri Mio, Ishii Shin, Kasai Haruo, Yagishita Sho	4. 巻 579
2. 論文標題 Dopamine D2 receptors in discrimination learning and spine enlargement	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 555 ~ 560
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-020-2115-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kotake Risa, Kanehara Akiko, Miyamoto Yuki, Kumakura Yousuke, Sawada Utako, Takano Ayumi, Chiba Rie, Ogawa Makoto, Kondo Shinsuke, Kasai Kiyoto, Kawakami Norito	4. 巻 20
2. 論文標題 Reliability and validity of the Japanese version of the INSPIRE measure of staff support for personal recovery in community mental health service users in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12888-020-2467-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama, Daisuke, Masaki Fukunaga, Naohiro Okada, Kentaro Morita, Kiyotaka Nemoto, Kaori Usui, Hidenaga Yamamori et al.	4. 巻 25
2. 論文標題 White matter microstructural alterations across four major psychiatric disorders: mega-analysis study in 2937 individuals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Molecular Psychiatry	6. 最初と最後の頁 883 ~ 895
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41380-019-0553-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koshiyama Daisuke, Kirihara Kenji, Tada Mariko, Nagai Tatsuya, Fujioka Mao, Usui Kaori, Koike Shinsuke, Suga Motomu, Araki Tsuyoshi, Hashimoto Kenji, Kasai Kiyoto	4. 巻 208
2. 論文標題 Gamma-band auditory steady-state response is associated with plasma levels of d-serine in schizophrenia: An exploratory study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 467 ~ 469
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2019.02.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mai Iwanaga, Kotaro Imamura, Akihito Shimazu, Norito Kawakami	4. 巻 13 (5)
2. 論文標題 The impact of being bullied at school on psychological distress and work engagement in a community sample of adult workers in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PlosOne	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41537-017-0016-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shuntaro Ando, Satoshi Usami, Tetsuya Matsubayashi, Michiko Ueda, Shinsuke Koike, Syudo Yamasaki, Shinya Fujikawa, Tsukasa Sasaki, Mariko Hiraiwa-Hasegawa, George Patton, Kiyoto Kasai, Atsushi Nishida	4. 巻 14 (3)
2. 論文標題 Age relative to school class peers and emotional well-being in 10-year-olds	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PlosOne	6. 最初と最後の頁 e0214359
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0214359	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Motomu Suga, Yuki Kawakubo, Yukika Nishimura, Kenji Hashimoto, Masato Yumoto, Kiyoto Kasai	4. 巻 129 (7)
2. 論文標題 Lack of correlation between phonetic magnetic mismatch field and plasma d-serine levels in humans	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1444-1448
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.04.603	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinji Shimodera, Shinsuke Koike, Shuntaro Ando, Syudo Yamasaki, Ryosuke Fujito, Kaori Endo, Yudai Iijima, Yu Yamamoto, Masaya Morita, Ken Sawada, Nobuki Ohara, Yuji Okazaki, Atsushi Nishida	4. 巻 2011
2. 論文標題 Lithium levels in tap water and psychotic experiences in a general population of adolescents	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 294-298
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2018.05.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshihiro Satomura, Eisuke Sakakibara, Ryu Takizawa, Shinsuke Koike, Yukika Nishimura, Hanako Sakurada, Mika Yamagishi, Chie Shimojo, Shingo Kawasaki, Naohiro Okada, Jun Matsuoka, Akihide Kinoshita, Seiichiro Jinde, Shinsuke Kondo, Kiyoto Kasai	4. 巻 243
2. 論文標題 Severity-dependent and -independent brain regions of major depressive disorder: A long-term longitudinal near-infrared spectroscopy study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Affective disorder	6. 最初と最後の頁 249-254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2018.09.029	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ando Shuntaro, Nishida Atsushi, Yamasaki Syudo, Koike Shinsuke, Morimoto Yuko, Hoshino Aya, Kanata Sho, Fujikawa Shinya, Endo Kaori, Usami Satoshi, Furukawa Toshiaki A, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, TTC Scientific and Data Collection Team	4. 巻 dzy033
2. 論文標題 Cohort Profile: The Tokyo Teen Cohort study (TTC)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Epidemiology	6. 最初と最後の頁 168-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ije/dyz033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Syudo Yamasaki, Shuntaro Ando, Marcus Richards, Stephani L.Hatch, Shinsuke Koike, Shinya Fujikawa, Sho Kanata, Kaori Endo, Yuko Morimoto, Makoto Arai, Haruo Okado, Satoshi Usami, Toshiaki A.Furukawa, Mariko Hiraiwa-Hasegawa, Kiyoto Kasai, Atsushi Nishida	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Maternal diabetes in early pregnancy, and psychotic experiences and depressive symptoms in 10-year-old offspring: A population-based birth cohort study	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2018.12.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakakibara Eisuke, Takizawa Ryu, Kawakubo Yuki, Kuwabara Hitoshi, Kono Toshiaki, Hamada Kasumi, Okuhata Shiho, Eguchi Satoshi, Ishii-Takahashi Ayaka, Kasai Kiyoto	4. 巻 8
2. 論文標題 Genetic influences on prefrontal activation during a verbal fluency task in children: A twin study using near-infrared spectroscopy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain and Behavior	6. 最初と最後の頁 e00980 ~ e00980
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.980	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ando Shuntaro, Nishida Atsushi, Usami Satoshi, Koike Shinsuke, Yamasaki Syudo, Kanata Sho, Fujikawa Shinya, Furukawa Toshiaki A, Fukuda Masato, Sawyer Susan M, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto	4. 巻 238
2. 論文標題 Help-seeking intention for depression in early adolescents: Associated factors and sex differences	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Affective Disorders	6. 最初と最後の頁 359 ~ 365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2018.05.077	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kamiya Kouhei, Okada Naohiro, Sawada Kingo, Watanabe Yusuke, Irie Ryusuke, Hanaoka Shouhei, Suzuki Yuichi, Koike Shinsuke, Mori Harushi, Kunimatsu Akira, Horii Masaaki, Aoki Shigeki, Kasai Kiyoto, Abe Osamu	4. 巻 31
2. 論文標題 Diffusional kurtosis imaging and white matter microstructure modeling in a clinical study of major depressive disorder	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NMR in Biomedicine	6. 最初と最後の頁 e3938 ~ e3938
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/nbm.3938	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujikawa Shinya, Ando Shuntaro, Nishida Atsushi, Usami Satoshi, Koike Shinsuke, Yamasaki Syudo, Morimoto Yuko, Toriyama Rie, Kanata Sho, Sugimoto Noriko, Sasaki Tsukasa, Furukawa Toshiaki A., Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto	4. 巻 68
2. 論文標題 Disciplinary slapping is associated with bullying involvement regardless of warm parenting in early adolescence	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Adolescence	6. 最初と最後の頁 207 ~ 216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.adolescence.2018.07.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morimoto Yuko, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Koike Shinsuke, Fujikawa Shinya, Kanata Sho, Endo Kaori, Nakanishi Miharuru, Hatch Stephani L, Richards Marcus, Kasai Kiyoto, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Nishida Atsushi	4. 巻 8
2. 論文標題 Purpose in life and tobacco use among community-dwelling mothers of early adolescents	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e020586 ~ e020586
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2017-020586	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koshiyama Daisuke, Kirihara Kenji, Tada Mariko, Nagai Tatsuya, Fujioka Mao, Ichikawa Eriko, Ohta Kazusa, Tani Motoko, Tsuchiya Maiko, Kanehara Akiko, Morita Kentaro, Sawada Kingo, Matsuoka Jun, Satomura Yoshihiro, Koike Shinsuke, Suga Motomu, Araki Tsuyoshi, Kasai Kiyoto	4. 巻 8
2. 論文標題 Electrophysiological evidence for abnormal glutamate-GABA association following psychosis onset	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-018-0261-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okada Naohiro, Yahata Noriaki, Koshiyama Daisuke, Morita Kentaro, Sawada Kingo, Kanata Sho, Fujikawa Shinya, Sugimoto Noriko, Toriyama Rie, Masaoka Mio, Koike Shinsuke, Araki Tsuyoshi, Kano Yukiko, Endo Kaori, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Nishida Atsushi, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto	4. 巻 8
2. 論文標題 Abnormal asymmetries in subcortical brain volume in early adolescents with subclinical psychotic experiences	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-018-0312-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okada N, Ando, Sanada, Hirata-Mogi, Iijima, Sugiyama, Shirakawa, Yamagishi, Kanehara, Morita, Yagi, Hayashi, Koshiyama, Morita, Sawada, Ikegame, Sugimoto, Toriyama, Masaoka, Fujikawa, Kanata, Tada, Kirihara, Yahata, Araki, Jinde, Kano, Koike, Endo, Yamasaki, Nishida, Hiraiwa-Hasegawa, Bundo, Iwamoto, Tanaka, Kasai	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Population-neuroscience study of the Tokyo TEEN Cohort (pn-TTC): Cohort longitudinal study to explore the neurobiological substrates of adolescent psychological and behavioral development	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12814	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okada N, Yahata N, Koshiyama D, Morita K, Sawada K, Kanata S, Fujikawa S, Sugimoto N, Toriyama R, Masaoka M, Koike S, Araki T, Kano Y, Endo K, Yamasaki S, Ando S, Nishida A, Hiraiwa-Hasegawa M, Edden R A. E., Barker P B., Sawa A, Kasai K	4. 巻 9
2. 論文標題 Neurometabolic and functional connectivity basis of prosocial behavior in early adolescence	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 7 3 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-38355-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kasai Kiyoto, Fukuda Masato	4. 巻 3
2. 論文標題 Science of recovery in schizophrenia research: brain and psychological substrates of personalized value	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 npj Schizophrenia	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41537-017-0016-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kasai Kiyoto, Ando Shuntaro, Kanehara Akiko, Kumakura Yousuke, Kondo Shinske, Fukuda Masato, Kawakami Norito, Higuchi Teruhiko	4. 巻 4.4
2. 論文標題 Strengthening community mental health services in Japan.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Lancet Psychiatry	6. 最初と最後の頁 268-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S2215-0366(16)30373-X	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamasaki Syudo, Usami Satoshi, Sasaki Ryo, Koike Shinsuke, Ando Shuntaro, Kitagawa Yuko, Matamura Misato, Fukushima Masako, Yonehara Hiromi, Foo Jerome Clifford, Nishida Atsushi, Sasaki Tsukasa	4. 巻 -
2. 論文標題 The association between changes in depression/anxiety and trajectories of psychotic-like experiences over a year in adolescence	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2017.10.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Morokuma Yoko, Endo Kaori, Nishida Atsushi, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Morimoto Yuko, Nakanishi Miharuru, Okazaki Yuji, Furukawa Toshi A, Morinobu Shigeru, Shimodera Shinji	4. 巻 7
2. 論文標題 Sex differences in auditory verbal hallucinations in early, middle and late adolescence: results from a survey of 17,451 Japanese students aged 12-18 years	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e015239-e015239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2016-015239	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama Daisuke, Fukunaga Masaki, Okada Naohiro, Yamashita Fumio, Yamamori Hidenaga, Yasuda Yuka, Fujimoto Michiko, Ohi Kazutaka, Fujino Haruo, Watanabe Yoshiyuki, Kasai Kiyoto, Hashimoto Ryota	4. 巻 8
2. 論文標題 Role of subcortical structures on cognitive and social function in schizophrenia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-18950-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama Daisuke, Fukunaga Masaki, Okada Naohiro, Yamashita Fumio, Yamamori Hidenaga, Yasuda Yuka, Fujimoto Michiko, Ohi Kazutaka, Fujino Haruo, Watanabe Yoshiyuki, Kasai Kiyoto, Hashimoto Ryota	4. 巻 8
2. 論文標題 Subcortical association with memory performance in schizophrenia: a structural magnetic resonance imaging study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-017-0069-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanehara Akiko, Kotake Risa, Miyamoto Yuki, Kumakura Yousuke, Morita Kentaro, Ishiura Tomoko, Shimizu Kimiko, Fujieda Yumiko, Ando Shuntaro, Kondo Shinsuke, Kasai Kiyoto	4. 巻 17
2. 論文標題 The Japanese version of the questionnaire about the process of recovery: development and validity and reliability testing	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 BMC Psychiatry	6. 最初と最後の頁 360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12888-017-1520-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshikawa Akane, Nishimura Fumichika, Inai Aya, Eriguchi Yosuke, Nishioka Masaki, Takaya Atsuhiko, Tochigi Mamoru, Kawamura Yoshiya, Umekage Tadashi, Kato Kayoko, Sasaki Tsukasa, Ohashi Yoshiaki, Iwamoto Kazuya, Kasai Kiyoto, Kakiuchi Chihiro	4. 巻 72
2. 論文標題 Mutations of the glycine cleavage system genes possibly affect the negative symptoms of schizophrenia through metabolomic profile changes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 168-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12628	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama Daisuke, Kirihara Kenji, Tada Mariko, Nagai Tatsuya, Fujioka Mao, Koike Shinsuke, Suga Motomu, Araki Tsuyoshi, Kasai Kiyoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Association between mismatch negativity and global functioning is specific to duration deviance in early stages of psychosis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2017.09.045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshikawa Akane, Nishimura Fumichika, Inai Aya, Eriguchi Yosuke, Nishioka Masaki, Takaya Atsuhiko, Tochigi Mamoru, Kawamura Yoshiya, Umekage Tadashi, Kato Kayoko, Sasaki Tsukasa, Kasai Kiyoto, Kakiuchi Chihiro	4. 巻 5
2. 論文標題 Novel rare variations in genes that regulate developmental change in N-methyl-d-aspartate receptor in patients with schizophrenia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Human Genome Variation	6. 最初と最後の頁 17056
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/hgv.2017.56	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koike Shinsuke, Satomura Yoshihiro, Kawasaki Shingo, Nishimura Yukika, Kinoshita Akihide, Sakurada Hanako, Yamagishi Mika, Ichikawa Eriko, Matsuoka Jun, Okada Naohiro, Takizawa Ryu, Kasai Kiyoto	4. 巻 71
2. 論文標題 Application of functional near infrared spectroscopy as supplementary examination for diagnosis of clinical stages of psychosis spectrum	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 794-806
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12551	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasabayashi Daiki, Takayanagi Yoichiro, Takahashi Tsutomu, Koike Shinsuke, Yamasue Hidenori, Katagiri Naoyuki, Sakuma Atsushi, Obara Chika, Nakamura Mihoko, Furuichi Atsushi, Kido Mikio, Nishikawa Yumiko, Noguchi Kyo, Matsumoto Kazunori, Mizuno Masafumi, Kasai Kiyoto, Suzuki Michio	4. 巻 82
2. 論文標題 Increased Occipital Gyrfication and Development of Psychotic Disorders in Individuals With an At-Risk Mental State: A?Multicenter Study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Biological Psychiatry	6. 最初と最後の頁 737-745
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biopsych.2017.05.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kondo Shinsuke, Kumakura Yousuke, Kanehara Akiko, Nagato Daisuke, Ueda Taro, Matsuoka Tsuneo, Tao Yukiko, Kasai Kiyoto	4. 巻 3
2. 論文標題 Premature deaths among individuals with severe mental illness after discharge from long-term hospitalisation in Japan: A naturalistic observation during a 24-year period	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 British Journal of Psychiatry Open	6. 最初と最後の頁 193-195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1192/bjpo.bp.117.004937	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Higuchi Yuko, Sumiyoshi Tomiki, Seo Tomonori, Suga Motomu, Takahashi Tsutomu, Nishiyama Shimako, Komori Yuko, Kasai Kiyoto, Suzuki Michio	4. 巻 7
2. 論文標題 Associations between daily living skills, cognition, and real-world functioning across stages of schizophrenia; a study with the Schizophrenia Cognition Rating Scale Japanese version	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research: Cognition	6. 最初と最後の頁 13-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scog.2017.01.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagai Tatsuya, Kirihara Kenji, Tada Mariko, Koshiyama Daisuke, Koike Shinsuke, Suga Motomu, Araki Tsuyoshi, Hashimoto Kenji, Kasai Kiyoto	4. 巻 7
2. 論文標題 Reduced Mismatch Negativity is Associated with Increased Plasma Level of Glutamate in First-episode Psychosis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 2258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-02267-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujino H, Sumiyoshi C, Yasuda Y, Yamamori H, Fujimoto M, Fukunaga M, Miura K, Takebayashi Y, Okada N, Isomura S, Kawano N, Toyomaki A, Kuga H, Isobe M, Oya K, Okahisa Y, Takaki M, Hashimoto N, Kato M, Onitsuka T, Ueno T, Ohnuma T, Kasai K, Ozaki N, Sumiyoshi T, Imura O, Hashimoto R, for COCORO	4. 巻 71
2. 論文標題 Estimated cognitive decline in patients with schizophrenia: A multicenter study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 294-300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12474	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Mihoko, Takahashi Tsutomu, Takayanagi Yoichiro, Sasabayashi Daiki, Katagiri Naoyuki, Sakuma Atsushi, Obara Chika, Koike Shinsuke, Yamasue Hidenori, Furuichi Atsushi, Kido Mikio, Nishikawa Yumiko, Noguchi Kyo, Matsumoto Kazunori, Mizuno Masafumi, Kasai Kiyoto, Suzuki Michio	4. 巻 -
2. 論文標題 Surface morphology of the orbitofrontal cortex in individuals at risk of psychosis: a multicenter study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Archives of Psychiatry and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00406-018-0890-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Isobe Masanori, Redden Sarah A., Keuthen Nancy J., Stein Dan J., Lochner Christine, Grant Jon E., Chamberlain Samuel R.	4. 巻 17
2. 論文標題 Striatal abnormalities in trichotillomania: A multi-site MRI analysis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 NeuroImage: Clinical	6. 最初と最後の頁 893-898
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nicl.2017.12.031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aramaki Eiji, Shikata Shuko, Ayaya Satsuki, Kumagaya Shin-Ichiro	4. 巻 6
2. 論文標題 Crowdsourced Identification of Possible Allergy-Associated Factors: Automated Hypothesis Generation and Validation Using Crowdsourcing Services	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 JMIR Research Protocols	6. 最初と最後の頁 e83-e83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/resprot.5851	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Koike S, Suga M, Araki T, Kasai K	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Duration and frequency mismatch negativity shows no progressive reduction in early stages of psychosis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2017.03.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawada K, Kanehara A, Eguchi S, Tada M, Satomura Y, Suga M, Koike S, Kasai K	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Identifying neurocognitive markers for outcome prediction of global functioning in ultra-high-risk for psychosis and first episode psychosis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12522	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanehara A, Ando S, Araki T, Usami S, Kuwabara H, Kano Y, Kasai K	4. 巻 2
2. 論文標題 Trends in psychological distress and alcoholism after The Great East Japan Earthquake of 2011	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 SSM - Population Health	6. 最初と最後の頁 807-812
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ssmph.2016.10.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujikawa S, Ando S, Shimodera S, Koike S, Usami S, Toriyama R, Kanata S, Sasaki T, Kasai K, Okazaki Y, Nishida A	4. 巻 11
2. 論文標題 The Association of Current Violence from Adult Family Members with Adolescent Bullying Involvement and Suicidal Feelings	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Plos One	6. 最初と最後の頁 e0163707
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0163707	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kasai K, Fukuda M	4. 巻 3
2. 論文標題 Science of recovery in schizophrenia research: brain and psychological substrates of personalized value	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 npj Schizophrenia	6. 最初と最後の頁 14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41537-017-0016-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kasai K, Ando S, Kanehara A, Kumakura Y, Kondo S, Fukuda M, Kawakami N, Higuchi T	4. 巻 4
2. 論文標題 Strengthening community mental health services in Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Lancet Psychiatry	6. 最初と最後の頁 268-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S2215-0366(16)30373-X	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ando S, Kuwabara H, Araki T, Kanehara A, Tanaka S, Morishima R, Kondo S, Kasai K	4. 巻 25
2. 論文標題 Mental health problems in a community after the Great East Japan Earthquake in 2011: a systematic review	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Harvard Review of Psychiatry	6. 最初と最後の頁 15-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/HRP.0000000000000124	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morita K, Miura K, Fujimoto M, Yamamori H, Yasuda Y, Iwase M, Kasai K, Hashimoto R	4. 巻 2
2. 論文標題 Eye movement as a biomarker of schizophrenia: Usingan integrated eye movement score	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 104-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12460	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Higuchi Y, Sumiyoshi T, Seo T, Suga M, Takahashi T, Nishiyama S, Komori Y, Kasai K, Suzuki M	4. 巻 7
2. 論文標題 Associations between daily living skills, cognition, and real-world functioning across stages of schizophrenia; a study with the Schizophrenia Cognition Rating Scale Japanese version	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research: Cognition	6. 最初と最後の頁 13-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scog.2017.01.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 笠井 清登	4. 巻 118
2. 論文標題 リカバリーの意味とその科学	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 精神神経学雑誌	6. 最初と最後の頁 744-749
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Nana, Watanabe Kazuhiro, Nishi Daisuke, Kawakami Norito	4. 巻 63
2. 論文標題 Associations Between Personal Values and Work Engagement	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Occupational and Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 e335 ~ e340
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002209	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueda Junko, Bundo Miki, Nakachi Yutaka, Kasai Kiyoto, Kato Tadafumi, Iwamoto Kazuya	4. 巻 75
2. 論文標題 Cell type specific DNA methylation analysis of the prefrontal cortex of patients with schizophrenia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 297 ~ 299
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.13282	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Isobe Masanori, Vaghi Matilde, Fineberg Naomi A., Apergis-Schoute Annemieke M., Bullmore Edward T., Sahakian Barbara J., Robbins Trevor W., Chamberlain Samuel R.	4. 巻 -
2. 論文標題 Set-shifting-related basal ganglia deformation as a novel familial marker of obsessive-compulsive disorder	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The British Journal of Psychiatry	6. 最初と最後の頁 1 ~ 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1192/bjp.2021.45	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Endo Kaori, Yamasaki Syudo, Nakanishi Mihar, DeVlyder Jordan, Usami Satoshi, Morimoto Yuko, Stanyon Daniel, Suzuki Kazuhiro, Miyashita Mitsuhiro, Arai Makoto, Fujikawa Shinya, Kanata Sho, Ando Shuntaro, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Nishida Atsushi	4. 巻 239
2. 論文標題 Psychotic experiences predict subsequent loneliness among adolescents: A population-based birth cohort study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 123 ~ 127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2021.11.031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 DeVylder Jordan, Endo Kaori, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Nishida Atsushi	4. 巻 5
2. 論文標題 Migration and psychotic experiences in the Tokyo Teen Cohort	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Migration and Health	6. 最初と最後の頁 100078 ~ 100078
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jmh.2022.100078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kaji Namiko, Ando Shuntaro, Nishida Atsushi, Yamasaki Syudo, Kuwabara Hitoshi, Kanehara Akiko, Satomura Yoshihiro, Jinde Seiichiro, Kano Yukiko, Hiraiwa Hasegawa Mariko, Igarashi Takashi, Kasai Kiyoto	4. 巻 75
2. 論文標題 Children with special health care needs and mothers' anxiety/depression: Findings from the Tokyo Teen Cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 394 ~ 400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.13301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morita Masaya, Ando Shuntaro, Kiyono Tomoki, Morishima Ryo, Yagi Tomoko, Kanata Sho, Fujikawa Shinya, Yamasaki Syudo, Nishida Atsushi, Kasai Kiyoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Bidirectional relationship of problematic Internet use with hyperactivity/inattention and depressive symptoms in adolescents: a population-based cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 European Child and Adolescent Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00787-021-01808-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miyashita M, Yamasaki S, Ando S, Suzuki K, Toriumi K, Horiuchi Y, Yoshikawa A, Imai A, Nagase Y, Miyano Y, Inoue T, Endo K, Morimoto Y, Morita M, Kiyono T, Usami S, Okazaki Y, Furukawa T A., Hiraiwa-Hasegawa M, Itokawa M, Kasai K, Nishida A, Arai M	4. 巻 7
2. 論文標題 Fingertip advanced glycation end products and psychotic symptoms among adolescents	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 npj Schizophrenia	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41537-021-00167-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bundo Miki, Ueda Junko, Nakachi Yutaka, Kasai Kiyoto, Kato Tadafumi, Iwamoto Kazuya	4. 巻 26
2. 論文標題 Decreased DNA methylation at promoters and gene-specific neuronal hypermethylation in the prefrontal cortex of patients with bipolar disorder	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Molecular Psychiatry	6. 最初と最後の頁 3407 ~ 3418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41380-021-01079-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi Kenji, Maeda Yoshitomo, Sawada Takeshi, Iino Yusuke, Tajiri Mio, Nakazato Ryosuke, Ishii Shin, Kasai Haruo, Yagishita Sho	4. 巻 12
2. 論文標題 A behavioural correlate of the synaptic eligibility trace in the nucleus accumbens	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-05637-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Du Jianbin, Nakachi Yutaka, Kiyono Tomoki, Fujii Shinya, Kasai Kiyoto, Bundo Miki, Iwamoto Kazuya	4. 巻 14
2. 論文標題 Comprehensive DNA Methylation Analysis of Human Neuroblastoma Cells Treated With Haloperidol and Risperidone	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Molecular Neuroscience	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnmol.2021.792874	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takagi Yu, Okada Naohiro, Ando Shuntaro, Yahata Noriaki, Morita Kentaro, Koshiyama Daisuke, Kawakami Shintaro, Sawada Kingo, Koike Shinsuke, Endo Kaori, Yamasaki Syudo, Nishida Atsushi, Kasai Kiyoto, Tanaka Saori C	4. 巻 24
2. 論文標題 Intergenerational transmission of the patterns of functional and structural brain networks	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 102708 ~ 102708
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102708	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanehara Akiko, Koike Haruna, Fujieda Yumiko, Yajima Sayaka, Kabumoto Asami, Kumakura Yousuke, Morita Kentaro, Miyamoto Yuki, Nochi Masahiro, Kasai Kiyoto	4. 巻 22
2. 論文標題 Culture-dependent and universal constructs and promoting factors for the process of personal recovery in users of mental health services: qualitative findings from Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMC Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12888-022-03750-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morishima Ryo, Usami Satoshi, Ando Shuntaro, Kiyono Tomoki, Morita Masaya, Fujikawa Shinya, Araki Tsuyoshi, Kasai Kiyoto	4. 巻 46
2. 論文標題 Trajectory and course of problematic alcohol use after the Great East Japan Earthquake: Eight year follow up of the Higashi Matsushima cohort study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Alcoholism: Clinical and Experimental Research	6. 最初と最後の頁 570 ~ 580
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/acer.14787	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yagi Yuko, Takahashi Yusuke, Ogata Yu, Yamana Hayato, Kumakura Yousuke, Ichihashi Kayo, Kasai Kiyoto, Kondo Shinsuke	4. 巻 41
2. 論文標題 Oral corticosteroid dosage and clinical presentation of psychiatric conditions after steroid use: A consultation liaison psychiatry service's experience	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neuropsychopharmacology Reports	6. 最初と最後の頁 471 ~ 475
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/npr2.12204	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Stanyon Daniel, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Endo Kaori, Nakanishi Miharuru, Kiyono Tomoki, Hosozawa Mariko, Kanata Sho, Fujikawa Shinya, Morimoto Yuko, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Nishida Atsushi	4. 巻 239
2. 論文標題 The role of bullying victimization in the pathway between autistic traits and psychotic experiences in adolescence: Data from the Tokyo Teen Cohort study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 111 ~ 115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2021.11.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hosozawa Mariko, Yamasaki Syudo, Ando Shuntaro, Endo Kaori, Morimoto Yuko, Kanata Sho, Fujikawa Shinya, Cable Noriko, Iso Hiroyasu, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Nishida Atsushi	4. 巻 -
2. 論文標題 Lower help-seeking intentions mediate subsequent depressive symptoms among adolescents with high autistic traits: a population-based cohort study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 European Child and Adolescent Psychiatry	6. 最初と最後の頁 1 ~ 10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00787-021-01895-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakanishi Miharū, Yamasaki Syudo, Niimura Junko, Endo Kaori, Nakajima Naomi, Stanyon Daniel, Baba Kaori, Oikawa Nao, Hosozawa Mariko, Ando Shuntaro, Hiraiwa-Hasegawa Mariko, Kasai Kiyoto, Nishida Atsushi	4. 巻 12
2. 論文標題 Association between maternal perceived capacity in life and physical punishment of teenage children: a longitudinal analysis of a population-based cohort in Tokyo, Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e058862 ~ e058862
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2021-058862	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sasabayashi D, Takayanagi Y, Takahashi T, Nishiyama S, Mizukami Y, Katagiri N, Tsujino N, Nemoto T, Sakuma A, Katsura M, Ohmuro N, Okada N, Tada M, Suga M, Maikusa N, Koike S, Furuichi At, Kido M, Noguchi K, Yamasue H, Matsumoto K, Mizuno M, Kasai K, Suzuki M	4. 巻 11
2. 論文標題 Reduced cortical thickness of the paracentral lobule in at-risk mental state individuals with poor 1-year functional outcomes	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41398-021-01516-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Onitsuka Toshiaki, Hirano Yoji, Nemoto Kiyotaka, Hashimoto Naoki, Kushima Itaru, Koshiyama Daisuke, Koeda Michihiko, Takahashi Tsutomu, Noda Yoshihiro, Matsumoto Junya, Miura Kenichiro, Nakazawa Takanobu, Hikida Takatoshi, Kasai Kiyoto, Ozaki Norio, Hashimoto Ryota	4. 巻 76
2. 論文標題 Trends in big data analyses by multicenter collaborative translational research in psychiatry	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 1 ~ 14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.13311	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 ENIGMA Clinical High Risk for Psychosis Working Group, Jalbrzikowski Maria et al.	4. 巻 78
2. 論文標題 Association of Structural Magnetic Resonance Imaging Measures With Psychosis Onset in Individuals at Clinical High Risk for Developing Psychosis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JAMA Psychiatry	6. 最初と最後の頁 753 ~ 753
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1001/jamapsychiatry.2021.0638	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shi Jifan, Kirihara Kenji, Tada Mariko, Fujioka Mao, Usui Kaori, Koshiyama Daisuke, Araki Tsuyoshi, Chen Luonan, Kasai Kiyoto, Aihara Kazuyuki	4. 巻 1
2. 論文標題 Criticality in the Healthy Brain	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Network Physiology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnetp.2021.755685	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okada N, Yamamoto Y, Yahata N, Morita S, Koshiyama D, Morita K, Sawada K, Kanata S, Fujikawa S, Sugimoto N, Toriyama R, Masaoka M, Koike S, Araki T, Kano Y, Endo K, Yamasaki S, Ando S, Nishida A, Hiraiwa-Hasegawa M, Yokoyama C, Kasai K	4. 巻 11
2. 論文標題 Birth order and prosociality in the early adolescent brain	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-01146-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計104件 (うち招待講演 7件 / うち国際学会 44件)

1. 発表者名 山崎修道・Sarah Sullivan・清野知樹・遠藤香織・星野彩・安藤俊太郎・笠井清登・長谷川真理子・西田淳志
2. 発表標題 言語・運動発達からみた思春期精神病症状体験と自閉スペクトラム傾向：大規模出生コホートと母子手帳情報を用いた解析
3. 学会等名 第15回日本統合失調症学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 磯部昌憲他
2. 発表標題 神経性やせ症患者の体重認識への マインドフルネス介入の影響およびその神経基盤
3. 学会等名 NPBPPP2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 磯部昌憲
2. 発表標題 摂食障害の早期発見と早期対応
3. 学会等名 第61回日本児童青年精神医学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 磯部昌憲
2. 発表標題 摂食障害とファッション産業
3. 学会等名 第116回日本精神神経学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yamasaki Syudo, Nishida Atsushi, Ando Shuntaro
2. 発表標題 Reciprocal relationships among psychotic symptoms, suicidal behaviour and help-seeking in adolescence: Evidence from Tokyo Teen Cohort Study
3. 学会等名 2021 Congress of the Schizophrenia International Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yu Takagi, Steven W. Kennerley, Jun-ichiro Hirayama, Laurence T. Hunt
2. 発表標題 Demixed shared component analysis of neural population data from multiple brain areas
3. 学会等名 NeurIPS (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Isobe M, Noda T, Tose K, Mishima R, Noma S
2. 発表標題 Effect of mindfulness intervention on weight recognition among patients with anorexia nervosa and its underlying neural basis
3. 学会等名 International Conference on Eating Disorders (ICED) 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Isobe M, Hook RW, Chamberlain SR
2. 発表標題 Social Cognition, not General Cognition, modified with a Selective Adenosine A2A Receptor Antagonist
3. 学会等名 CINP2021 Virtual Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 森 麻子, 岡田 剛, 高村真広, 高垣耕企, 横山仁史, 市川奈穂, 柴崎千代, 吉野敦雄, 岡本泰昌, 山脇成人
2. 発表標題 安静時脳結合による報酬予測時の腹側線条体活動予測
3. 学会等名 第41回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森 麻子, 岡田 剛, 岡本泰昌
2. 発表標題 うつの報酬予期障害に関する脳機能画像研究
3. 学会等名 第41回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山崎修道、安藤俊太郎、遠藤香織、小池進介、長谷川真理子、笠井清登、西田淳志
2. 発表標題 思春期発来前後での思春期精神病症状体験と自殺関連行動・抑うつ症状の関係～思春期出生コホートによるエビデンス
3. 学会等名 第14回日本統合失調症学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安藤俊太郎、山口創生、小川亮、小塩靖崇、市橋香代、近藤伸介、藤井千代、笠井清登
2. 発表標題 INDIGO READ研究の紹介と日本サイトでの実践
3. 学会等名 第115回日本精神神経学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安藤俊太郎、西田淳志、山崎修道、笠井清登
2. 発表標題 児童思春期における微量なりチウム摂取とメンタルヘルス
3. 学会等名 第115回日本精神神経学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安藤俊太郎
2. 発表標題 相対年齢とウェルビーイングの関係：媒介要因の検討
3. 学会等名 第60回日本児童青年精神医学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西田淳志
2. 発表標題 母子保健と思春期精神保健を連続的にとらえた地域保健戦略：母子手帳の科学的活用
3. 学会等名 第60回日本児童青年精神医学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 梶奈美子
2. 発表標題 日本におけるChildren with Special Health Care Needs
3. 学会等名 第60回日本児童青年精神医学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤川慎也
2. 発表標題 養育といじめの関連の縦断的検討：Tokyo Teen Cohort study
3. 学会等名 第60回日本児童青年精神医学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kanehara A, Koike H, Fujieda Y, Yajima S, Kabumoto A, Morita K, Kumakura Y, Kanata S, Nochi M, Kasai K
2. 発表標題 The concept and facilitators of personal recovery for mental health service users in Japan.
3. 学会等名 7th European Conference on Schizophrenia Research (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kasai K
2. 発表標題 Using translatable brain markers to understand pathophysiology of early psychosis. International symposium on redox in psychosis risk.
3. 学会等名 - (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kasai K
2. 発表標題 Asian Consortium on MRI studies in Psychosis project.
3. 学会等名 AsCNP (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okada N, Yahata N, Koike S, Ando S, Nishida A, Kasai K
2. 発表標題 Neurometabolic basis of subclinical psychotic experiences in early adolescents.
3. 学会等名 AsCNP (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kumakura Y, Hamada J, Ogawa T, Kanehara A, Morishima R, Noriko O, Fukuda M, Kasai K
2. 発表標題 Support for adolescents and young adults (AYA) with 22q11.2 deletion syndrome.
3. 学会等名 7th European Conference on Schizophrenia Research (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Usui K, Kirihara K, Tada M, Fujioka M, Koshiyama D, Koike S, Araki T, Kasai K
2. 発表標題 Psychopathological symptoms associated with global functional outcome in ultra-high-risk individual and patients with first-episode psychosis.
3. 学会等名 7th European Conference on Schizophrenia Research (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okada N, Yahata N, Koike S, Ando S, Nishida A, Kasai K
2. 発表標題 Neurometabolic basis of subclinical psychotic experiences in early adolescents.
3. 学会等名 7th European Conference on Schizophrenia Research (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kasai K, Kwon JS
2. 発表標題 Personalized intervention in psychiatric disorders: bio-typing neuromodulation and response prediction.
3. 学会等名 7th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Azuma H, Tanaka R, Nakai M, Araki T, Koguchi A, Mitsutake A, Toda T, Kondo S, Kasai K
2. 発表標題 Anti-NMDA Receptor Encephalitis Initially Diagnosed as Hashimoto Encephalopathy.
3. 学会等名 7th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawakami S, Okada N, Morita K, Koshiyama T, Morita S, Kasai K
2. 発表標題 Image analysis on discrepancy between subjective and objective evaluation of depression: Resting-state fMRI study.
3. 学会等名 7th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Morishima R, Ando S, Araki T, Usami S, Kasai K
2. 発表標題 Living in temporary housing and psychological distress after the Great East Japan Earthquake.
3. 学会等名 7th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Zhu Y, Nakatani H, Yassin W, Okada N, Abe O, Yamasue H, Kasai K, Koike S
2. 発表標題 Machine learning-based prediction of schizophrenia spectrum.
3. 学会等名 7th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Morimoto C, Yamasue H, Kasai K, Koike S
2. 発表標題 Characterization of Cerebellar structures and its relationship with clinical symptoms in schizophrenia and autism spectrum disorder.
3. 学会等名 7th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyono T, Morita M, Morishima R, Ando S, Kasai K
2. 発表標題 Autism spectrum and psychotic experiences.
3. 学会等名 7th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Usui K, Kirihara K, Tada M, Fujioka M, Koshiyama D, Koike S, Suga M, Araki T, Kasai K
2. 発表標題 Longitudinal relations between psychopathological symptoms and global functional outcome in ultra-high-risk individuals and patients with first-episode psychosis.
3. 学会等名 7th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fujioka M, Kirihara K, Koshiyama D, Tada M, Nagai T, Usui K, Koike S, Suga M, Araki T, Kasai K
2. 発表標題 Mismatch negativity predicts remission and neurocognitive function in individuals at ultra-high risk for psychosis.
3. 学会等名 7th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Morishima R, Yamasaki S, Ando S, Shimodera S, Ojio Y, Okazaki Y, Kasai K, Sasaki T, Nishida A
2. 発表標題 Sleep duration and psychotic symptoms in adolescents: Findings from the population-based study.
3. 学会等名 7th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Kasai K
2 . 発表標題 Translatable neurophysiological & neuroanatomical markers for psychosis.
3 . 学会等名 NCCR- IRCN “ 22q ” Workshop (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Takagi Y, Yoshida W, Tanaka C. S
2 . 発表標題 Model abstraction for model-based reinforcement learning in the human orbitofrontal cortex
3 . 学会等名 2019 Conference on Cognitive Computational Neuroscience (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Koike S, Sakakibara E, Satomura Y, Sakurada H, Yamagishi M, Matsuoka J, Okada N, Kasai K
2 . 発表標題 The difference in brain activity of the prefrontal cortex between schizophrenia, bipolar disorder, and major depression.
3 . 学会等名 WFSBP Asia Pacific Regional Congress of Biological Psychiatry (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Murata Y, Bundo M, Ueda J, Ohnishi A, Kubota-Sakashita M, Ikegame T, Suhara T, Kasai K, Kato T, Iwamoto K
2 . 発表標題 Investigation of abnormal molecular pathways in LINE-1 regulation in the brain using embryonic poly(I:C) model mouse.
3 . 学会等名 WFSBP Asia Pacific Regional Congress of Biological Psychiatry (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Okada N, Hashimoto R, Ozaki N, Kasai K
2. 発表標題 Circuits/physiology biomarkers based on RDoC.
3. 学会等名 WFSBP Asia Pacific Regional Congress of Biological Psychiatry (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Araki T, Kirihara K, Koshiyama D, Nagai T, Tada M, Fujioka M, Usui K, Kasai K
2. 発表標題 Mismatch negativity in schizophrenia.
3. 学会等名 WFSBP Asia Pacific Regional Congress of Biological Psychiatry (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kasai K
2. 発表標題 Neuroimaging and neurophysiological investigations into schizophrenia.
3. 学会等名 RIKEN CBS Summer Program 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 思春期のこころの成長と不調からの回復.
3. 学会等名 脳とこころの研究 第4回公開シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 閾値下精神病体験を認める思春期早期の児における脳皮質下体積の左右バランスの変化に関する検討.
3. 学会等名 脳とこころの研究 第4回公開シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笹林大樹、高柳陽一郎、高橋努、小森祐子、片桐直之、佐久間篤、小原千佳、小池進介、中村美保子、古市厚志、木戸幹雄、西川祐美子、野口京、山末英典、松本和紀、水野雅文、笠井清登、鈴木道雄
2. 発表標題 ARMS群における大脳皮質厚の変化と機能的転帰との関連
3. 学会等名 第22回日本精神保健・予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 多田真理子、小池進介、笠井清登
2. 発表標題 今後の多施設共同研究における早期精神病の評価・診断のあり方.
3. 学会等名 第22回日本精神保健・予防学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 人生行動科学にもとづく統合失調症の理解と支援
3. 学会等名 第4回九州DPAフォーラム(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 あなたの価値観を大切にすると統合失調症の新しい理解と支援
3. 学会等名 第53回コンボ亭月例会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 日高洋介、池亀天平、菅原裕子、清田恵美、笠井清登、石川智久、橋本衛、竹林実、文東美紀、岩本和也
2. 発表標題 5HTTLPRのハイスループットジェノタイピング法による新規多型の同定 .
3. 学会等名 第48回日本神経精神薬理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 精神疾患のリバーストランスレーショナルリサーチ .
3. 学会等名 第34回Wakoワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笹林大樹、高柳陽一郎、高橋努、小森祐子、西山志満子、片桐直之、佐久間篤、小原千佳、小池進介、山末英典、中村美保子、古市厚志、木戸幹雄、西川祐美子、笠井清登、松本和紀、水野雅文、鈴木道雄 .
2. 発表標題 精神病発症危険群における脳回形成の変化と認知機能障害との関連 .
3. 学会等名 第18回精神疾患と認知機能研究会 .
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤岡真生、切原賢治、越山太輔、多田真理子、永井達哉、臼井香、小池進介、管心、荒木剛、笠井清登
2. 発表標題 ミスマッチ陰性電位は精神病ハイリスク者の寛解をよび認知機能を予測する.
3. 学会等名 第18回精神疾患と認知機能研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kasai K
2. 発表標題 Neurophysiological investigations into early psychosis using translatable brain markers.
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of Japanese Society of Biological Psychiatry
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kiyoto Kasai, Gregory A. Light
2. 発表標題 Mismatch negativity as a translatable biomarker bridging a gap between animal model and human diseases.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Koshiyama D, Kirihara K, Tada M, Nagai T, Fujioka M, Usui K, Koike S, Suga M, Araki T, Kasai K
2. 発表標題 MMN in human adolescence and in early psychosis.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kunii N, Ishishita Y, Shimada S, Tada M, Kirihara K, Uka T, Kasai K, Saito N
2. 発表標題 Human ECoG study on the lateral superior temporal gyrus: deviance detection versus adaptation.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Bundo M, Ueda J, Nishioka M, Kiyota E, Kasai K, Kato T, Iwamoto K
2. 発表標題 Developing a method for detection of LINE-1 and its application to single brain cells.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Morita K, Miura K, Fujimoto M, Yamamori H, Yasuda Y, Kudo N, Azechi H, Okada N, Koshiyama D, Kawakami S, Morita S, Ikeda M, Kasai K, Hashimoto R
2. 発表標題 Eye movement abnormalities and their association with cognitive impairments in schizophrenia.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takamura T, Nakamura T, Yoshinaga K, Ogata Y, Ozaki N, Kasai K, Hashimoto R, Hanakawa T
2. 発表標題 Resting-state functional connectivity MRI classification of major depressive disorder in multi-site data.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tada M, Kirihara K, Ishishita Y, Kunii N, Shimada S, Ibayashi K, Saito N, Uka T, Kasai K
2. 発表標題 Localization and characteristics of auditory steady-state response (ASSR) in the human electrocorticogram (ECOG).
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tanaka T, Nishimura F, Kakiuchi C, Kasai K, Kimura M, Haruno M
2. 発表標題 nteractive effects of OXTR and GAD1 on envy-associated behaviors and neural responses.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Zhao Z, Jinde S, Koike S, Yoshikawa A, Satomura Y, Bundo M, Iwamoto K, Kakiuchi C, Kasai K
2. 発表標題 Involvement of microRNAs in first-episode psychosis.
3. 学会等名 The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 澤田欣吾、榊原英輔、金原明子、小池春菜、藤枝由美子、管心、宮本有紀、福田正人、笠井清登
2. 発表標題 統合失調症患者に対する臺式簡易客觀的精神指標 (UBOM) の有用性についての検討
3. 学会等名 第114回日本精神神経学会学術總會
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 思春期・AYA世代支援の科学.
3. 学会等名 日本小児科学会・第13回思春期医学臨床講習会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笠井清登・金原明子・熊倉陽介
2. 発表標題 リカバリーをどのように共同創造できるのかー主体価値の視点から How can we co-product personal recovery? From the viewpoint of personalized value シンポジウム 28 (S28-3) 統合失調症のリカバリーガイドライン 当事者との coproduction (共同創造)
3. 学会等名 第113回 日本精神神経学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金田渉・藤川慎也・鳥山理恵・遠藤香織・森本裕子・小池進介・山崎修道・安藤俊太郎・西田淳志・長谷川真理子・笠井清登
2. 発表標題 乳幼児期の発達指標と10歳時夜尿との関連 地域住民代表調査 Tokyo Early Adolescent Survey : T-EAS より
3. 学会等名 平成29年度 国際思春期科学ワークショップ
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金原明子、熊倉陽介、笠井清登
2. 発表標題 統合失調症はどこまで治るか 「リカバリーの視点から」
3. 学会等名 第13回日本統合失調症学会
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Kanehara A, Kumakura Y, Kanata S, Fujieda Y, Koike H, Morita K, Yamaguchi S, Miyamoto Y, Nochi M, Fukuda M, Kasai K
2 . 発表標題 Development of a framework of recovery for mental health service users in Japan
3 . 学会等名 6th BESETO (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Kanehara A, Kumakura Y, Kanata S, Fujieda Y, Koike H, Morita K, Yamaguchi S, Miyamoto Y, Nochi M, Fukuda M, Kasai K.
2 . 発表標題 Development of a framework of recovery for mental health service users in Japan
3 . 学会等名 6th European Conference on Schizophrenia Research (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Kumakura Y, Kanehara A, Kanata S, Natsukari I, Kondo S, Ichihashi K, Suga M, Miyamoto Y, Ikebuchi E, Fukuda M, Kasai K:
2 . 発表標題 Development of a question prompt sheet for schizophrenia: dissemination strategies to raise awareness of shared decision making (SDM) in Japan.
3 . 学会等名 6th European Conference on Schizophrenia Research (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Fujikawa S, Ando S, Nishida A, Usami S, Koike S, Yamasaki S, Morimoto Y, Toriyama R, Kanata S, Sugimoto N, Sasaki T, Furukawa T, Hasegawa M, Kasai K
2 . 発表標題 Slapping as a parental disciplinary practice, warm parenting and bullying involvement in early adolescence: a longitudinal cohort study
3 . 学会等名 The 16th Congress of the International Federation of Psychiatric Epidemiology (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Ando S
2. 発表標題 The Tokyo Teen Cohort study: an adolescent cohort study with life course approach
3. 学会等名 The 21st International Epidemiological Association World Congress of Epidemiology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ando S, Nishida A
2. 発表標題 Tokyo Teen Cohort Study
3. 学会等名 The 16th Congress of the International Federation of Psychiatric Epidemiology (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fujikawa S, Ando S, Nishida A, Patton G, Hasegawa M, Kasai K
2. 発表標題 Parental corporal punishment and later bullying: a community cohort study in early adolescence
3. 学会等名 The World Psychiatric Association 's Thematic Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤枝由美子、石橋綾、矢島明佳、清水希実子、管心、金原明子、石浦朋子、宮本有紀、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 ピアスタッフ導入に向けての取り組み：A病院デイケアでのニーズ調査
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 土屋麻衣子、谷元子、金原明子、太田和佐、小池進介、笠井清登
2. 発表標題 「こころのリスク外来」メール受診相談におけるPRIME-Jスクリーニングの活用
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 太田和佐、谷元子、土屋麻衣子、金原明子、多田真理子、管心、小池進介、笠井清登
2. 発表標題 テキストマイニング分析を用いた精神科医療機関への支援要請過程に関する調査
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 江口聡、管心、藤枝由美子、夏堀龍暢、山崎修道、笠井清登
2. 発表標題 A病院におけるメタ認知訓練法の効果の検討
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 清水希実子、塩原裕理、藤枝由美子、飯田美恵、金原明子、管心、芳賀信彦、笠井清登
2. 発表標題 東京大学医学部附属病院における精神障害者試験的雇用の実践報告
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坂井隆太郎、松本衣美、宮本有紀、小川亮、熊倉陽介、森田康子、千葉理恵、西大輔、山口創生、島津明人、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 リカバリーを支援するプログラムについて：英国に置けるリカバリーカレッジ運営の実態から
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本衣美、坂井隆太郎、宮本有紀、小川亮、熊倉陽介、森田康子、千葉理恵、西大輔、山口創生、島津明人、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 英国リカバリーカレッジの効果について：文献レビュー
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮本有紀、小川亮、坂井隆太郎、松本衣美、山田理絵、熊倉陽介、森田康子、千葉理恵、山口創生、西大輔、島津明人、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 主体的参加によるリカバリー促進実践：英国リカバリーカレッジの提供する講座内容の分析
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 千葉理恵、宮本有紀、山口創生、西大輔、島津明人、近藤伸介、笠井清登
2. 発表標題 精神保健サービスおよびサービスに関わる人のリカバリー志向性に関連する評価尺度：文献レビュー
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 管心、西村幸香、川久保友紀、湯本真人、笠井清登
2. 発表標題 統合失調症患者を対象に脳磁計を用いた単一課題中のduration/frequency MMNの測定
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 越山太輔、切原賢治、多田真理子、永井達哉、荒木剛、笠井清登
2. 発表標題 精神病性障害の早期段階に置けるミスマッチ陰性電位の縦断研究
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山崎修道、安藤俊太郎、小池進介、藤川慎也、金田渉、遠藤香織、森本裕子、宇佐美慧、長谷川眞理子、笠井清登、西田淳志
2. 発表標題 母体の妊娠早期糖尿病罹患と10歳児の精神病症状体験・抑うつとの縦断的関連
3. 学会等名 第12回日本統合失調症学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 「新学術領域研究：思春期主体価値」紹介
3. 学会等名 次世代脳プロジェクト：冬のシンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 統合失調症の病態解明へのアプローチ
3. 学会等名 第49回精神神経系薬物治療研究報告会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 金原明子、熊倉陽介、金田渉、中野彰夫、笠井清登
2. 発表標題 こころの健康教育教材を用いた出前授業の実施：実践報告
3. 学会等名 第20回日本精神保健・予防学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 安藤俊太郎、西田淳志、宇佐美慧、小池進介、山崎修道、金田渉、藤川慎也、古川壽亮、長谷川真理子、笠井清登
2. 発表標題 思春期メンタルヘルスと援助希求
3. 学会等名 第20回日本精神保健・予防学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 笠井清登
2. 発表標題 思春期主体価値学にもとづく統合失調症の理解と支援
3. 学会等名 第11回山口県統合失調症研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池亀天平、文東美紀、菅原裕子、小池進介、近藤健治、池田匡志、才田晴美、浅井竜朗、吉川茜、西村文親、河村代志也、垣内千尋、佐々木司、石郷岡純、岩田仲生、加藤忠史、笠井清登、岩本和也
2. 発表標題 双極性障害および統合失調症患者末梢血で認められるSLC6A4プロモーターの高メチル化
3. 学会等名 第38回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 笹林大樹、高柳陽一郎、小池進介、山末英典、片桐直之、佐久間篤、中村美保子、高橋努、古市厚志、木戸幹雄、西川祐美子、松本和紀、水野雅文、笠井清登、鈴木道雄
2. 発表標題 At-risk mental stateにおける脳回の過形成
3. 学会等名 第38回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菅原裕子、文東美紀、池亀天平、近藤健治、池田匡志、岩田仲生、石郷岡純、笠井清登、加藤忠史、岩本和也
2. 発表標題 統合失調症と双極性障害におけるエピゲノム要因の共通性と特異性についての検討
3. 学会等名 第38回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 磯部昌憲
2. 発表標題 神経性やせ症と脳内報酬系
3. 学会等名 第24回日本摂食障害学会学術集会・シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 森麻子、岡田剛、横山仁史、高村真広、高垣耕企、市川奈穂、吉野敦雄、岡本泰昌
2. 発表標題 うつ病における安静時脳内報酬系ネットワークの変化
3. 学会等名 第43回日本生物学的精神医学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Furukawa Y, Oguro S, Obata S, Hamza T, Edoardo G Ostinelli, Kasai K
2. 発表標題 Optimal dose of brexpiprazole for augmentation therapy of antidepressant-refractory depression: Protocol for a systematic review and dose-effect meta-analysis
3. 学会等名 8th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kanehara A, Morishima R, Takahashi Y, Usui K, Sato S, Uno A, Sawai Y, Kumakura Y, Yagishita S, Morita K, Okada N, Ando S, Koike S, Shibuya T, Joseph S, Kasai K
2. 発表標題 Young carers in Japan: Reliability and validity testing of the BBC/University of Nottingham young carers survey questionnaire and prevalence estimation in 5,000 adolescents
3. 学会等名 8th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Morishima R, Koike H, Kanehara S, Usui K, Okada N, Ando S, Kasai K
2. 発表標題 School Closures due to COVID-19 and Mental Health Symptoms after School Reopening in Japan
3. 学会等名 8th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tanaka M, Kanehara A, Morishima R, Kumakura Y, Okouchi N, Nakajima N, Hamada J, Ogawa T, Tamune H, Nakahara M, Jinde S, Kano Y, Kasai K
2. 発表標題 Developmental changes in educational challenges at schools for children and adolescents with 22q11.2 deletion syndrome
3. 学会等名 8th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kanehara A, Koike H, Fujieda Y, Yajima S, Kabumoto A, Kumakura Y, Morita K, Miyamoto Y, Nochi M, Kasai K
2. 発表標題 Culture-dependent and universal constructs and promoting factors for the process of personal recovery
3. 学会等名 8th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Koike S, Morita K, Okada N, Xin Yu, Jun Soo Kwon, Kasai K
2. 発表標題 The progress of the Asian Consortium on MRI studies in Psychosis (ACMP)
3. 学会等名 8th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Zhao Z, Jinde S, Kasai K
2. 発表標題 Gene expression analysis of the globus pallidus in a mouse model of 22q11.2 deletion syndrome
3. 学会等名 8th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Usui K, Kirihara K, Araki T, Tada M, Koshiyama D, Fujioka M, Nishimura R, Ando S, Koike S, Kasai K
2. 発表標題 Development of mismatch negativity is associated with psychological difficulties in adolescence
3. 学会等名 8th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Omileke F, Okada N, Kasai K
2. 発表標題 Betaine and Structural Changes in Schizophrenia
3. 学会等名 8th BESETO International Psychiatry Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 笠井清登、宮本有紀、福田正人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 141
3. 書名 別冊医学のあゆみ・統合失調症UPDATE:脳・生活・人生の統合的理解にもとづく価値医学の最前線	

1. 著者名 笠井清登、村井俊哉、三村將、岡本泰昌、近藤伸介、大島紀人(編)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 640
3. 書名 精神科研修ノート第二版	

〔産業財産権〕

〔その他〕

東京ティーンコホートホームページ
<http://ttcp.umin.jp/>
 脳・生活・人生の統合的理解にもとづく思春期からの主体価値発展学ホームページ
<http://value.umin.jp/index.html>

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

国際研究集会 国際思春期科学ワークショップ・特別講演	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 国際思春期科学ワークショップ・特別講演	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 国際思春期科学ワークショップ・特別講演	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 国際思春期科学ワークショップ・特別講演	開催年 2016年～2016年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
中国	北京大学			
韓国	ソウル大学			
英国	ロンドン大学	ブリストル大学	ケンブリッジ大学	他2機関
米国	カリフォルニア大学	フォーダム大学	ハーバード大学	
カナダ	トロント大学			
オーストリア	ウィーン大学			
オーストラリア	メルボルン大学	マードック小児研究所		